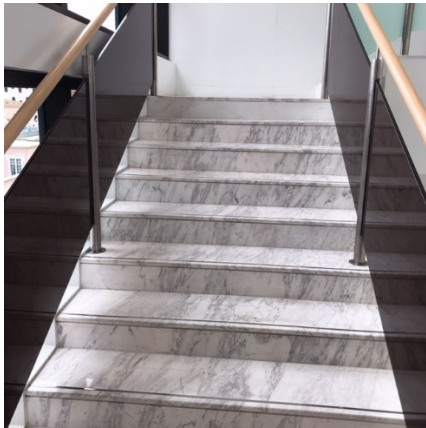


## 【エッセイ：階段は上から掃除】

この読者の方は、普段からお掃除はよく行うほうでしょうか？例えば、このような階段があったとします。



この時、どのように掃除しますか？上から掃除しますか？下から掃除しますか？それとも真ん中ですか？

ゴミがあると、上から下へ向かって順序良く掃除をしたほうが効率は良いです。下のほうを先に掃除して、その後、上を掃除すると、どうしてもゴミが上から下のほうへ落ちてきますから、またやり直さないといけません。

実はこれは会社も同じで、トップの人の考え方や行動、私がよく言う「あり方」次第で、会社は良くもなれば、悪くも変わってしまいます。

日本には「子は親の鑑」ということわざがあります。これは「子供の言動や行動を見れば、その子供の親が、どんな親であるかを知ることができる」という意味です。もう少し詳しく説明すると、「子供の考え方やその行動は、親が何を大切にし、どのような生活をしているかが、子供に影響を与え、親の考え方や言動が鏡のように子供に映しだされる。よって子供は親に似ている」ということから生まれたことわざのようです。

私は、これは会社も同じで、トップを親とした場合に、この親であるトップの考え方、行動が、社員（子）にも影響を与えると考えています。会社の社員一人一人を見れば、その会社の

社風がある程度わかります。社風は一人一人の社員が年月を掛けて創り出したものです。同じような業種、職種でも、会社ごと個性があるのは、この社風が違うからだと感じます。

最初の「階段は上から掃除」に戻りますと、会社の経営者である私も当然ですが、部下がいる方、そして、これから部下を持つ方は、自分自身が影響を与えていることを自覚しなければなりません。常に自分を律し、俯瞰してみることがリーダーの一つの条件ではないかと思います。

何かのご参考になれば幸いです。